

ふたばこども園

園 便 り 5 月 号

ふたばっ子

令和7年5月1日発行

文責 園長 納富博文



しょうぶ

5月18日は旭学園「創立記念日」です。

旭学園は、今からさかのぼること128年前の1897年（明治30年）に、校祖「中島ヤス」先生が近隣の子女の切望により家塾を創設されたことが始まりです。

旭学園では、5月18日を「創立記念日」と定め、毎年、その前日に「校祖祭」を行い、中島ヤス先生の遺徳を偲び、建学の精神を次代に引き継いでいます。今年度は16日（金）が校祖祭となります。

中島ヤス先生は、朝の太陽が空に昇るがごとく校運隆々（コウソウリュウ）となることを願われましたが、太陽の光が万民に等しく降り注ぐように、この学園の教育がすべての子どもたちに公平無私（コウヘムシ）であることを願われて、『旭』と名付けられました。これが『旭』学園の由来です。



校祖 中島ヤス先生



旭 学 園 全 景

教育・保育実習が始まります。

保育士や看護師などを目指す学生が実習にたくさん訪れます。子どもたちは「お姉ちゃん先生」が来るのを楽しみにしています。また、子どもたちは多くの人に出会うことで社会性やコミュニケーション力がたくさん身についています。

4月21日から佐賀女子高看護専攻科の学生が小児看護学実習に来ています。これから5月～10月にかけて、佐賀女子短大をはじめ近隣の短大や大学から実習に来ます。

また、佐賀女子高校の保育コースとは年間を通して連携を図っています。保育コースの生徒が実習や保育参観、オペレッタや紙芝居などの発表をします。また、保育同好会という部活のようなものを作っただけ、放課後に同好会の生徒が子どもたちと遊びながら保育を学んでいます。

佐賀清和高校からも保育実習の依頼があり、7月30日と8月1日に保育体験に来ます。

個人情報保護へのご理解とご協力を（再掲）

今日、いろいろな情報伝達アプリが発達し、世界中のニュースや様子を瞬時に知ることができます。また、家族や友人等と情報の伝達や共有も手軽にできるようになりました。

そうしたアプリは大変便利で日常生活において欠かせないものになっています。しかし、利便性が高いがゆえに、利用の仕方を一歩間違えると大変危険な事につながります。SNSやLINEを利用した犯罪が身近でもたくさん発生し、後を絶ちません。

警察のサイバー官の方が「写真や動画の情報はパソコンやスマホ等の電子機器に少し詳しい人であれば、どこで撮影されたものかすぐ分かる。その場所から人物を特定して悪用していくことなど簡単なこと。また、拡散された情報を削除することはなかなか難しく、拡散のスピードに追いつけない。」と言われていました。

個人情報や間違った情報、誹謗中傷が一旦拡散されてしまうと、本当に取り返しのつかないこととなります。SNSやLINE等に「ただアップしただけ」と、アップした人は気楽に考えているかも知れませんが、された人にとっては、大変迷惑なこととなります。そして、莫大な慰謝料が発生する事案になるかも知れません。

園ではそうした状況を心配し、「自分の子どもさん以外や園の職員、園舎などが写っている写真や動画は極力撮らないようにしてください。また、SNS等への配信は厳に控えてください。」とお願いしています。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

公開保育や研修会、参観訪問などについて

佐賀県教育委員会より依頼があり、今年度も新規採用保育士の研修のための公開保育を6月18日（木）に行います。また、9月にはふたばこども園で私立幼稚園・認定こども園連合会主催の研修会や、現在活躍中の大学の先生方をお招きして園内研修を行う計画です。

また、本園が「遊びは学び、子ども主体」の教育・保育の先進的な園であることや、「先駆的な取り組み」を行っている園としてこども家庭庁が発行する事例集に掲載されたことなどから、これまで以上に、たくさんの学生や保育士の方が、参観や研修のために来園されると思います。ふたばの先生方もより一層の研修や研鑽を積むこととなります。何よりも先生方の質の向上を図ることが、質の高い教育・保育を提供することにつながると考えています。どうぞご理解とご協力をお願いします。